

# ツマジロクサヨトウ の発生にご注意ください。

—飼料用トウモロコシ・スイートコーン等を栽培される生産者さまへ—

ツマジロクサヨトウはアメリカ大陸が原産のヤガ科の害虫で、アフリカ大陸に分布拡大した際には、トウモロコシに大きな被害を出しました。

令和元年に国内で初めて発生が確認されて以降、全国で確認事例が増加しています。国内では主に飼料用トウモロコシ、スイートコーン等で発生しており、若くて柔らかい部位を好んで食害します。

本虫と疑われる虫を発見した場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

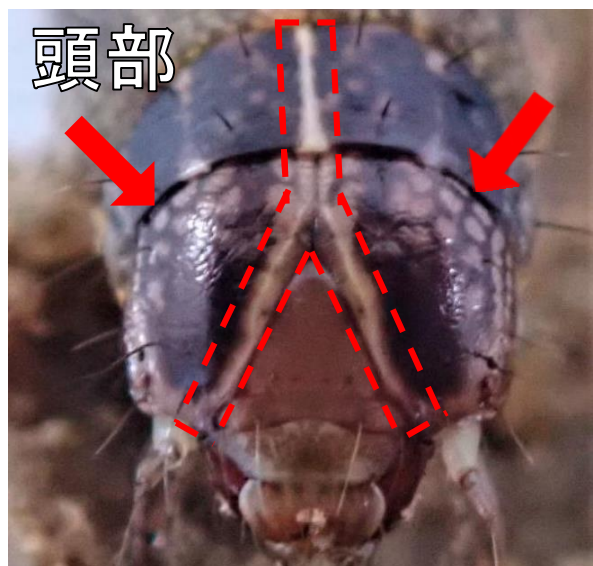
## ○ツマジロクサヨトウの特徴



▲ 成虫(雄)



▲ 老齢幼虫 ※体色には変異があります。



▲ 淡色の「逆Y字」紋がある。  
淡褐色の網目模様がある。

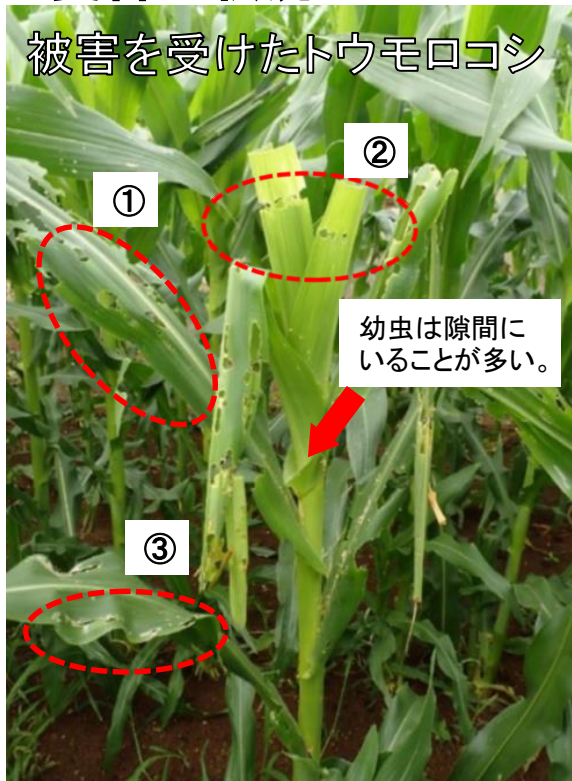


▲ 大きな黒斑があり、基部が盛り上がっている。

体長が約2cm以上の幼虫で見られる特徴

# ○食害の状況

被害を受けたトウモロコシ



① 葉



不定形の穴が多数開く。

② 茎の先端部



先端部の葉に穴が一行に開き、切断されることもある。

③ 葉



表面が若齢幼虫により食害され、片側の表皮が白く残る。

## ○ツマジロクサヨトウに類似する幼虫

※幼虫写真の下の黒線は実際の大きさを示す

◆アワヨトウ



最大4cm前後

顕著な黒斑なし



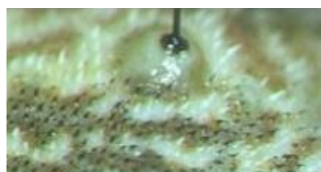
正面に2本の黒帯

◆オオタバコガ



最大4cm前後

「淡色の逆Y字紋」なし  
(あっても細いか、不明瞭)



体の表面に小さなトゲが多数ある  
(虫眼鏡等で拡大)



◆ハスモンヨトウ



三角形の黒斑が並ぶ  
(部分的に消失する場合あり)



最大4cm前後

大きな黒斑



問合せ先: 埼玉県病害虫防除所 (熊谷市須賀広784 電話: 048-539-0661)

または、最寄りの農林振興センターにお問い合わせください。

作成: 令和2年3月

発行: 埼玉県農林部農産物安全課

写真提供: 農林水産省

